

グロース法律事務所主催

企業間契約書のポイント

意外と知られていない 秘密保持契約 の重要チェックポイント

Sample

弁護士 谷川 安德

秘密保持契約書とは何か

- ① 誰を対象にして、何を守ろうとするのか
- ② 不正競争防止法の「営業秘密」との関係
- ③ それ以外の技術上、営業上の秘密情報との関係

をまず理解する
Sample

①誰を対象にして、何を守ろうとするのか

ステップ1 情報はどこから漏れるのかを意識する

→貴社の秘密保持契約は誰との間でされていますか???

1. 従業員等
2. 退職者等
3. 取引先
4. 外部者

Sample

①誰を対象にして、何を守ろうとするのか

1. 従業員等（役員や従業員、派遣労働者等）

事例：競合他社に漏れてしまうと事業継続にも影響する顧客情報に接することができる。

【対策としての秘密保持契約等の種類】

→社内規程（就業規則等）

→誓約書

→秘密保持契約書

→競業避止契約書

Sample

①誰を対象にして、何を守ろうとするのか

2. 退職者等

事例：競合他社に漏れてしまうと事業継続にも影響する顧客情報に接していた者である。

事例：自社基幹製品の開発に携わっていたものであり、設計図、仕様書等に接している。

【対策としての秘密保持契約等の種類】

→社内規程(就業規則等)

→誓約書

→秘密保持契約書

→競争禁止契約書

Sample